



一般社団法人名古屋工業会会誌

こきそ

2018 5-6 月号

【学位記授与式・入学式】

平成29年度学位記授与式

平成29年度名古屋工業会賞贈呈式

平成30年度入学式

【OBトップセミナー】

日本の風景を変える新しいタクシーが発車いたします
轟音を立てて飛ぶ航空機の映像が流れる

【研究者紹介】

研究紹介動画のご紹介

なごやロボット I・oT センター

【ホットライン】

国際化推進事業報告会開催の報告

【学生コーナー】

研究留学体験談@ポーランド

【新聞記事コーナー】

中日新聞、中部経済新聞

【情報ネットワーク】

支部報告・会員ニュース

No.483

発行 一般社団法人名古屋工業会
(名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4

TEL・052-731-0780

FAX・052-732-5298

E-MAIL・gokiso@lime.ocn.ne.jp

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>



「会費の自動引き落とし」をご利用の会員様へ

一般社団法人 名古屋工業会
理事長 水嶋 敏夫

名古屋工業会会費の口座振替のお知らせ

会員の皆様におかれましてはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

会費納入につきましては、ご協力いただき感謝いたしております。

名古屋工業会は、母校の発展と会員相互の交流・啓発を図り、卒業生が実り多い人生を過ごすことができますよう、諸活動を活発に行っています。

これも会員各位の御支援があるからこそ、と感謝いたしております。

早速でございますが、平成30年度の会費納入を、お願い申し上げます。

終身会員の取り扱いにつきましては下記の通りでございます。

工業会の活動はこの会費収入に依存しておりますのでよろしくお願いいたします。

※自動口座振替ご利用の方は、平成30年7月6日(金)にご指定の銀行より、
金5,000円也を引き落としさせていただきます。

記

【終身会費について】※平成26年4月1日より会費改定しております。

卒業後10年未満の方	80,000円
卒業後10年以上の方	60,000円
卒業後20年以上の方	50,000円
卒業後30年以上の方	40,000円
卒業後40年以上の方	30,000円
卒業後50年以上の方	20,000円
卒業後60年以上の方	10,000円

※「会費の郵便振替」をご利用の会員様へは次号月に、振込用紙を発送致します。

表紙写真説明

「紫陽花の散歩道」(鶴舞公園内)

撮影者 工業会事務局



平成29年度 学位記授与式

名古屋工業大学平成29年度学位記授与式が3月26日(月)、日本特殊陶業市民会館フォレストホールにおいて、卒業生および保護者等が出席して厳かに開催された。

式典は、鵜飼学長をはじめ大学役員、水嶋名古屋工業会理事長等来賓が列席し、管弦楽団によるワーグナー作曲「ニュルンベルグ」マイスタージンガー第1幕への前奏曲の演奏で

開式、大学院博士後期課程修了者25名、博士論文提出者3名、博士前期課程修了者688名、第一部卒業生905名、第二部卒業生20名に学長から学位記が授与された。続いて学長式辞があり、大学院修了者・学部卒業生の各代表から答辞が述べられた。

最後に合唱団によって学歌が合唱され、学位記授与式を終了した。



平成29年度 学位記授与式 式辞

国立大学法人名古屋工業大学

学長 鵜飼 裕之

本日はご卒業おめでとうございます。ここに、博士28名、修士688名、学士925名、総計1,641名の皆さんに学位を授与致しました。ご臨席を賜りましたご来賓の皆様ならびに列席の理事・副学長、各部局長をはじめ教職員一同、無事学位を取得されたことに心よりお祝いを申し上げます。All international students from foreign countries! I would like to honor your great efforts encouraged by studying in NITech while leaving your home countries far away and living in different language, culture and custom in Japan. Congratulations!

そして、社会人学生の皆さん！働きながら学業に研鑽を積まれた強い意志と弛まない努力に心より敬意を表します。もとより、皆さんが今日あるのは、ご家族の物心両面での支え、皆さんを取り巻く様々な方々の理解と協力があつたからに他なりません。感謝の気持ちを込め、ありがとうございます！今日はとくにそう声に出してみてください。

さて、学部を卒業される皆さんが入学された年に、私も学長に就任しました。いわば、皆さんと私は一緒にスタートラインにつき、本日、4年間のロングランを終え、次のステージへの新たなスタートラインに立っています。皆さん、自分の希望や夢を見る事ができましたか？それらをかなえるための準備は整いましたか？思い描いた理想の自分に近づけましたか？“もうちょっと、かっこ良かったかも…”なんて思っていないですか？

私の場合は…、4年前を飛び越え、45年ほど時計を巻き戻して振り返ってみましょう。私が名工大に入学した1973年当時は、大学紛争の嵐が全国の大学で吹き荒れた直後で、学術の府としての大学に対するイメージは大きく崩れ、憧れにも似た期待感を持つことはありませんでした。ですから、一日も早く技術を身に着け、社会に出て働くことだけを考えていました。そんな中、4年生になって転機が訪れました。研究室の恩師から一冊の本を渡され、制御工学という学問分野に出会ったことです。A.E.Bryson, Jr. とYu-chi Hoの著した“Applied Optimal Control”という本です。学部の私には難解な



本でしたが、様々な問題をモデルとして表し、数理的な手法を駆使して最適な解・制御方策を求める制御工学の魅力に取りつかれてしまいました。結局、その後、修士、博士と進学して研究者の道を選択し、名工大の教員として37年間過ごしてきました。

その間にも、様々な出会いがあり、制御の応用範囲はロボット、電力システムなど幅広い分野に跨って仕事をしてきました。そして4年前、学長となり、この4月からさらに二年間務める予定です。もしあの時、恩師と遭遇しなかったら、別の本だったら、全く違った人生を歩んでいたはずでは。

過去を振り返り、皆さんより少し長く（いや、だいぶですね）生きてきた経験から、確かなことがあります。それは、いくつになってもスタートラインは訪れるということ。出会いは何度でも訪れ、それに相応しい責任を負って人生は進んでいくということです。いましか出会えない人、モノ、出来事があり、その年代に相応しい機会に遭遇するということ。そうした出会いはチャンスでもあり、一つ一つ大切にしたい、そう強く伝えたいと思います。

これは私の成功体験だけで申し上げているわけではありません。失敗や後悔、反省もたくさんしました。だからこそ、自信を持って皆さんに伝えることができます。出会う人、出来事には、耳聴く、目聴くになっていただきたい。漫然していると、ふわっと通り過ぎてしまいます。常にアンテナを広げ、今より少し“気づき”の感度を上げるだけで、遭遇するチャンスの色づき

は変わってくるものです。

いま、科学技術に対して、これまで以上にイノベーション創出への期待が高まっています。2016年にスタートしたわが国の第五期科学技術基本計画の中でめざす近未来のビジョン「超スマート社会」とは、「必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細やかに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き活きと快適に暮らすことのできる社会」です。

その原動力とされるのが、AI、IoT、ロボットの技術であり、ひと昔前の発展スピードとは比較にならない速さで進化しています。やがて人間の感性までもがAIやロボットにコントロールされる時代が訪れるかも知れません。いや、最近、スマホに向かって会話している人をよく見かけることから、すでに始まっています。今後、AIが人間を超える方向に進化する局面から、むしろ、いかに人間らしくいられるか、という方向に科学技術の進化のベクトルが、方向転換するときがくるかも知れません。

皆さんには、このような将来の科学技術イノベーションをリードしていくことが期待されています。名工大で基軸となる専門を身に付けて卒業する皆さんも、これからは、異なる分野の人と協働したり、新しい分野の仕事を任されることがあるはずです。

皆さんにとって、それらは新たな出会いとなり、スタートラインとなります。そのとき、幅広い分野を多角的に見る目を持ち、また全体を俯瞰し、その視点から自分の領域を見据えて対応していく、このことが社会に出て益々必要になります。

こうした視点からの気づきの連鎖が新たな価値を生み、これまでになかった製品やアイデア、イノベーションに繋がっていくのだと思います。

ますます複合化し、多様化し、スピードを求められる時代において重要なことは、価値を見極める心の眼です。すなわち、自ら判断するうえでの確かな判断基準を備えることです。京都市立芸術大学学長、大阪大学元総長の哲学者、鷺田清一先生は、それを「価値の遠近法」という言葉で表現しています。すなわち、どんな状

況にあっても、次の四つの基準、一つ、絶対なくしてはならないものあるいは見失ってはならないもの、二つ、あってもいいけどなくてもいいもの、三つ、端的になくていいもの、四つ、絶対にあってはならないもの。この四つを見分けられる判断力を身につけておくことが大切であるとおっしゃっています。

その心の眼を養う術が教養であり、哲学だと思えます。社会に出れば、今よりもっと学びの選択肢は広がります。皆さんには大いに、学びと遊びの範囲を広げてもらいたい。様々な経験は、価値観、世界観、そして人生観を育み、科学技術の進化を見極める力が自然に、着実に身についていくことでしょう。

災害などで思い知らされるのですが、自然は人間の弱さを巧みに見つけます。人間は弱さを見ることを苦手とする生き物ですから、強いものばかり追い求めようとします。しかし、弱さは悪いばかりではありません。弱いところを知るからこそ強さの本質が見えてくるものです。これから遭遇する出会いには様々なリスクが潜んでいます。壁にぶつかって弱気になることもあるでしょう。そのようなときは、一旦立ち止まり、事態を見渡し、解決する糸口を見つける。時には一歩退いて態勢を整える智慧が必要です。また、自分の弱いところも見て下さい。そうして強さに弱さが融合すると、柔軟にたわむ“しなやかさ”になります。真の強さになります。ものづくりの源である本学から工学エリートとして旅立つ皆さんには、ワクワクするような世界が待っています。その世界を牽引する科学技術は、人文社会と自然科学の枠を超え、ますます複合化され、まさに指数的な変化にさらされていくことでしょう。皆さんなら、とてつもないスピードで進化する技術革新に漫然と流されず、どんな時代が訪れても、自在に対応して乗り切って行ける、私はそう信じています。

名古屋工業大学は、新たな人生を歩んでいく皆さんをこれからも応援していきます。そして、皆さんに続く優秀な人材を世に送り出すために、112年の伝統と誇りを守りながらもそれに甘んじることなく、変化する社会・産業界の期待に応え、世界に伍していける大学になるべく進化してまいります。

皆さんの健闘、幸運を祈念しています。

本日は、誠におめでとうございます。



平成29年度 名古屋工業会賞贈呈式

(学生支援事業)

理事長挨拶

一般社団法人名古屋工業会
理事長 水嶋 敏夫 (M42)

ご紹介いただきました水嶋でございます。

平成29年度名古屋工業会賞 贈呈式にあたり、全学同窓会組織であります一般社団法人名古屋工業会を代表して一言ご挨拶申し上げます。

さて、この冬は寒さが大変厳しかったものの、春の訪れは平年より早く、咲き誇る桜が皆さんの門出を祝ってくれています。

本日学位を授与されました皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、ご同席のご家族そして関係者の皆様におかれましては、卒業生の皆さんの晴れ姿に、感激と喜びは如何ばかりかと拝察致します。

そして、留学生の皆さんにおかれましては、故郷を遠く離れて学業・研究に専念され、当初の目標を達成されたその意欲とご努力に、深く敬意を表すとともに、心からお祝い申し上げます。

先程19名の方に、名古屋工業会賞を贈呈しました。

この賞は学長の推挙に基づき、卒業生の中から学業成績が特に優秀で、豊かな感性とリーダーシップを持ち、他の模範になると認められた方に贈呈するものです。

受賞された方はもちろん、全ての卒業生の皆さんが、これから進まれるそれぞれの分野で、輝かしい成果をあげていかれることを期待しています。頑張ってください。

さて、皆さんの中には、これから直ぐ社会に出られる方もみえますし、更なる研究の道に進む方も見え、それぞれが新たなスタートラインに立った訳ですが、先輩でもある私から皆さんに、はなむけの言葉を贈りたいと思います。

一つめは「志を持って、自身の技術を極める」ことに日々地道に取り組んでいって欲しいという事です。

2月に開催された平昌冬季オリンピックでは、女子スピード・スケートや男子フィギュア・スケート等で過去最多のメダルを獲得しましたが、若いアスリート達の競技に感動された方も多かったことと思います。

彼等が国籍や性別を問わず、人々に感動を与



えられるのは、それぞれの道で成し遂げたい目標を明確に持ち、高い「志」を胸に抱いているからだと思います。

卒業生の皆さんも、今日この日を機会に、皆さん自身が「世のため人のため」自分は何をすべきか、自分自身の「志」について深く考えてみて欲しいと思います。

そして、その「志」を達成するために、ものづくり立国日本が世界をリードできるよう、世界ナンバーワン、オンリーワンを目指し、日々技術革新に挑戦していって欲しいと思います。

どのような分野でも、努力の積み上げなくして、偶然革新につながるような事は決してありません。

現場で知恵を絞り、コツコツ改善を積み重ねた結果、後で誰もがアッと驚くような効果が出て、革新につながるものだと思います。

長い人生の途中には、つらい事や時には挫折する事もあるでしょうが、「世のため人のため」、「志」をしっかり持っていれば、きっと乗り越えられると私は思います。

二つ目は、「人との絆」を大切にするという事です。

私自身も会社へ就職した後、名工大の大先輩と出会い、長い間ご指導を受け、育ててもらいました。

学生時代および社会生活の中で多くの先輩を知り、多くの友人をつくり、生涯の交流が続いている方々は沢山おみえになると思います。

社会の中では、たゆまぬ努力で自ら成果をあ

げる事が基本ですが、一つの事を成し遂げるには、自分一人だけの力では不十分で、チームとしての力が大変重要になります。

今後は、海外も含め、一人でも多くの人を知り、交友を深め、「人との絆」の輪を拡げて行って欲しいと思います。

さて、当名古屋工業会は全学同窓会組織として、“耀く、ますます耀く母校を願って”をスローガンに『大学支援』を事業目的の第一の柱とし、教育研究活動、海外留学、課外活動などの支援をしています。

卒業される皆さんは、今日から名工大卒業生としての誇りを胸に、日本で、世界で大いに活躍されることを期待していますが、卒業生の皆さんの今後の社会での活躍と頑張りが母校の名声を高め、名工大の更なる発展と繁栄につながっていきます。

母校への帰属意識を大切に、後輩たちを育成するための『大学支援』にも、積極的に貢献して欲しいと思います。

工業会のもう一つの活動の柱は『会員相互の

親睦』です。

日本全国には北から南まで22支部の拠点があり、諸先輩が企業などの見学会、講演会などを開催し、相互の親睦と啓発を深める活動をされています。

皆さんの新たな活躍の場は全国に広がると思いますが、工業会のホームページでは各支部の活動情報をお知らせしていますので、支部活動にも積極的に参加して交流を深めて頂くとともに、皆さんの若い力で全国の支部活動の活性化に向けて新風を巻き起こして下さい。

そのためにも、名古屋工業会に未だ加入されていない方は、今日は是非加入して頂きたいと思いますので、よろしくお願いします。

最後になりましたが、これまで卒業生の皆さんを育てられたご家族に深い敬意を表しますと共に、鵜飼学長はじめ教育研究のご指導を頂きました教職員の皆さま方に心からの謝意を表し、私の挨拶とします。

本日は誠にありがとうございました。

名古屋工業会賞の贈呈式が平成30年3月26日(月)に名古屋工業大学学位記授与式の後で行われ、水嶋理事長から次の19名に表彰状と記念品(刻銘入り時計)が贈呈された。

名古屋工業会賞は、第一部、第二部の各学科卒業生のうち、在学中の学業成績がきわめて優秀であり、豊かな感性を持ち他の学生の模範となる学生に対して、学長の推挙に基づき贈呈するものです。

贈呈者

(第一部)

生命・物質工学科	坂元 愛理	三浦 正剛	塚本 兼司
環境材料工学科	前田 将基	木下 賀登	
機械工学科	PARK JONGHOON	川口 祥平	今井 崇仁
電気電子工学科	小池 啓介	阿野 湊太	稲見 将宏
情報工学科	吉田 知貴	石松 佑太	杉浦 優介
建築・デザイン工学科	梅田 萌	木村 ななみ	
都市社会工学科	森本 優美	植木 裕佳里	

(第二部)

電気情報工学科	谷田 雅和
---------	-------





平成30年度 入学式

名古屋工業大学は4月6日(金)、平成30年度入学式を日本特殊陶業市民会館フォレストホールにおいて開催した。

式典は、鵜飼裕之学長をはじめ大学の役職者、名古屋工業会の水嶋敏夫理事長、内藤克己常務理事らが列席し、管弦楽団の奏楽で開式した。

鵜飼学長から工学部第一部995名、工学部第二部20名、大学院工学研究科博士前期課程735名、博士後期課程43名、総数1,793名の入学が許可され、各代表が勉学・研究に専念する旨を宣誓した。続いて、鵜飼学長から入学者歓迎の式辞が述べられた。引き続き、来賓として水嶋理事長よりお祝いの言葉が述べられた。

最後に、新入生を歓迎して合唱団が学歌を合唱し、入学式を終了した。

この後、新入生には学部生と大学院生に分かれて新入生オリエンテーションが行われた。保護者には名古屋工業大学と名古屋工業会による保護者説明会が開催され、鵜飼学長の挨拶の後、山下啓司キャリアサポートオフィス長ら大学教職員から、名工大の特長、入学から就職までの大学生活をサポートする体制について説明が行われた。また、加川純一理事・連携強化委員長が全学同窓会である名古屋工業会について説明し、保護者に本会への理解と協力を求めた。



学 長 式 辞

国立大学法人名古屋工業大学

学長 鵜飼 裕之

皆さん、名古屋工業大学にご入学おめでとうございます。ご臨席のご来賓ならびに列席の理事・副学長、部局長をはじめとする教職員一同とともに、皆さんのご入学をお祝いしたいと思います。日々勉学に勤しんできた努力が実を結び、晴れて入学されたことに敬意を表すとともに、これまで皆さんを力強く支えてこられたご家族、関係の皆様は心よりお祝いを申し上げます。

約一世紀前、教職員30名、学生100名で開校した高等工業学校は、科学技術の進歩と高等教育の普及に伴い、国立大学工学系の中では、教職員約530名、学生約5700名の屈指の規模を有する工学系単科大学として発展してまいりました。時代の変遷とともに進化し続ける実践的な名工大の学風が、今日まで7万人を超える優れた人材を社会に送り出し、数多くの卓越した研究実績を築いてきたことは言うまでもありません。皆さんの先輩方の足跡は、世界中至る所で見つけることができます。本日からその後輩であることに、皆さん、大いに誇りを持っていただきたいと思います。

また、中京地域は、わが国ひいては世界のものづくり産業の卓越した集積拠点です。この地域で生まれ、産業界の発展とともに育ってきた名工大が、テクノロジーの宝庫と称され、世界の発展に極めて大きな役割を担ってきたことを理解いただき、皆さんもその担い手になることを、改めて自覚いただきたいと思います。

さて、いま、世界は大きな転換期を迎えています。その方向を決める最大の要因は科学技術であると言っても過言ではありません。第一次産業革命を転機に、科学技術は急速に発展し社会も大きく変化してきました。そして、その時々において、社会が求める人材は多様化し、変化



し続けています。皆さんは、高度な専門性と実践的な技術の修得を期待して名工大に入学されたのではないかと思います。45年前、私が名工大を選んだ理由も同様です。しかし、専門的な知識・技能以外に大学において身につけて頂きたいことがあります。それは、人間力です。人間は個体として生まれてきますが、取り巻く環境・社会の中で生きています。人間力とは、社会を構成し運営しながら、一人の人間として力強く生きていくための総合力です。そこで、今日は私の体験を基に、重要となるポイントとして三つ、ご紹介したいと思います。

一つ目は現実世界から得る実感です。情報化社会の中で育った皆さんなら、知識と情報の収集については、持ち前の好奇心と粘り強さを発揮して、難なく乗り越えられると思います。しかし、個としてのオリジナリティ、他者とのコミュニケーション、コラボレーション、そうした人間力の磨きについてはいかがでしょう。例えば、ダ・ヴィンチの描いたモナ・リザ。ネットで鑑賞するのとルーブル博物館で鑑賞するのでは全く違った印象を受けるはずです。その時の部屋の雰囲気、気分など、現実で得る実感により情報は厚みを増し、記憶に深みを与えます。それが個性を育み、人間力の深みにつな

ります。

ものづくり企業の製造現場では、「現地、現物、現実」の三ゲン主義という考え方があります。現場に足を運び、現物を手に取り、現実を目で見て事実を知る。トヨタ生産方式で有名な「改善活動」の根底にある考え方であり、この方式を提案、実践した大野耐一氏と鈴木喜久男氏は本学の卒業生でもあります。AI、VR、ロボットなどICTの急速な進展によりデジタル社会が到来し、「データの世紀」と呼ばれる時代になっても、動かしているのは現実世界の人間です。

したがって、二つ目に重要となるのが、共感力です。現在のネット社会では情報さえあれば生活ができてしまう、ともすれば人間同士のつながりも情報を駆使してまかり通ってしまう。しかし、個が社会と関わりを持つなかで、他者と感情、心を通わせて協働する、すなわち共感していく力の必要性はますます高まることでしょう。京都大学総長で霊長類学者、ゴリラ研究で有名な山極寿一先生も「ゴリラは相手の目を見て感情を読み取れる。人間にもその共感能力があるのに、ネット社会の発達によって、対人関係が希薄になりその共感能力が減退しつつある」と警鐘を鳴らしています。グローバル社会では個人主義が強まっていますが、ひとたび人間社会という視点に立てば、他者を尊重しながらコミュニケーションを取り、共感力に加え直感力を働かせて様々な難題を乗り越えていく…モノづくり、コトづくりに関わる不可欠な能力として、今こそ人間の持つ能力を発揮するとき、と私は考えます。

そして三つ目のポイントは他者との差を見極め、そこから新たな価値を見出していく力です。日本映画の巨匠、黒澤明監督はこう言ったそうです。アメリカ映画の西部劇に出てくる乾いた風と土埃、あのスケールに我々は到底敵わない。けれど日本特有の雨ならば勝負できる、と。黒澤監督は、雨のアクションシーンを多く使用

し、“雨”といえは黒澤映画、と形容されるほど、世界的に有名となりました。風と土埃に代わる、雨という日本特有の気候にいち早く気づいて価値を見出し、強みに変えてしまう、その凄さに着目していただきたい。他者との差や自分自身の得手不得手を見極め、新たな手段を選び、新たな価値を創造していく…様々な専門分野が融合して新たな科学技術分野が作られていく、科学技術の世界にも通じるものがあります。

科学技術のフロンティアに立つ皆さんが、バランス感覚のある、真の工学エリートになるために、最先端の知識と技能を身につけるだけでなく、現場感覚を身につけ、人と人との交流や信頼関係を構築し、ものごとを見極める目を養って人間力を磨いていくことが重要であることをご理解いただけたと思います。あらゆる分野に関心を持ち、見聞を広め、体験を重ね、つねに自分の考えを持って学生生活を過ごして下さい。多くの人と出会って交流を深めて下さい。長い人生の中で学生時代は、感性の引き出しを増やす絶好の機会です。皆さんが社会に出るとき、必ずやそれは皆さんの財産となり、人間としての器の大きさを物語ります。あいつなら何て言うかな、あいつなら任せても大丈夫…互いにそう思えたら、素晴らしいではないですか！

最後になりますが、自立して力強く生きる皆さんの意欲を、名工大は全力で支援いたします。実践的工学エリートとして皆さんを育成いたします。そのための環境作り、整備を惜しみません。諸先生方、先輩方の声に、柔軟に耳を傾け、工学フィールドの道なき道を果敢に切り拓いて下さい。そこに見える扉のカギを握っているのは、皆さんです！期待しています。

名古屋工業大学は、教育研究環境の充実と改善をはかっていくことを強く約束し、私の式辞といたします。

理事長挨拶

一般社団法人名古屋工業会
理事長 水嶋 敏夫 (M42)

ご紹介いただきました水嶋でございます。

平成30年度名古屋工業大学入学式にあたり、全学同窓会組織であります一般社団法人名古屋工業会を代表して一言ご挨拶申し上げます。

今年は例年に比べますと春の訪れが早く、すっかり暖かくなりましたが、桜の花びらと若葉の美しいコントラストが、皆さんの門出を祝ってくれています。

本日入学されました皆さん誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

ご家族そして関係者の方々のお喜びは如何許りかと拝察いたします。

また、博士前期・後期課程進学に際し、これまでの勉学のご努力とご家族のサポートに深く敬意を表しますとともに、教職員の方々および関係者の方々の渾身のご指導に深く謝意を表します。

さて、当名古屋工業会の活動について、少しご紹介したいと思います。

名古屋工業会は、大正4年（1915年）に名古屋高等工業学校同窓会として設立され、現在まで百三年の歴史を刻む伝統ある組織です。

工業会の特徴は、卒業生のOB・OGだけでなく、現役の学生と教職員も会員としており、「耀く、ますます耀く母校を願って」をキーワードに『大学支援』を事業目的の第一の柱として活動をしている所にあります。

その『大学支援』とは、大学の教育研究活動そのものと、大学が行なう海外留学などグローバルな人材育成のための支援を中心としております。

今や私たちの世界は、情報もモノもヒトも国境をまたぎ、凄いスピードで行き交っていますが、今後もグローバル化はますます進んでいくと思います。

新入生の皆さんも、工業会が支援する留学プロジェクトに積極的に参加してもらい、海外でも十分活躍できるエンジニアを目指し、海外の文化を知るだけでなく、色々な人と議論する事



により、多角的な見方、考え方を学び、また、多くの友人をつくる機会として活用して欲しいと思います。

それ以外にも、挑戦的な課外活動への支援を行っています。

世界的、全国的な大会などで優秀な成績をあげ、名古屋工業大学の名声を高める活動をしてくれた場合には、工業会として表彰、支援を行っております。

具体的には「ロボコン」、琵琶湖の「鳥人間コンテスト」、オーストラリアの「ソーラーカーレース」、「F1フォーミュラカー」などがありますが、最近では、先月の学生将棋選手権で優勝し、学生一位になった方もみえます。

学生の本分は、学業に専念する事が第一ですが、このような課外活動は技術力を高めるだけではなく、多様なメンバーとのコミュニケーション能力、あるいはリーダーシップや精神力を養うことのできる重要な場だと思います。

その経験は、将来社会人になったのち、大変役に立つと思いますので、皆さんも課外活動に積極的に参加して欲しいと思います。

名古屋工業会のもう一つの活動の柱は『会員相互の親睦』です。

現在、工業会には一万五千人の会員が加入しており、全国にある二十二の支部では、企業などの見学会、講演会、親睦会などを開催し、会

員相互の親睦と啓発を深める活動をしています。

工業会への入会は、大学入学と同時に出来ますが、新入生のうち90%以上が加入してくれています。

まだ入会されていない人は是非、今日工業会の会員になって頂き、全国各地で様々な分野で活躍されている先輩と交流を深め、工業会の活動の輪を広げていって欲しいと思います。

さて、これから始まる皆さんの大学での教育・研究活動は、我々人類の未来を豊かにするための『何か』を産み出すパワーを皆さん自身内に蓄積する期間であると思います。

皆さんが将来「世のため人のために」自分は何をすべきか自分自身に問いかけ、それぞれの技術領域で世界を引っ張るぐらいの気概を持って、行動力のあるエンジニアを目指して欲しいと思います。

私自身も、皆さんと同じように半世紀程前、今から始まる大学生活がどんな風になるだろうかと、不安と期待を胸にこの入学式に臨みましたが、卒業後に就職した会社で出会った、名工大の大先輩から教わった言葉をご紹介しますと思います。

職場先輩でもあったその方からは、私共に企

業の中で『研究』『改善』『改革』を進めるにあたり、「闇夜に霜の降りるがごとく」という言葉を教えてもらいました。

冷え込んだ朝、起きてみると辺り一面が霜でおおわれて真っ白になっているのを見た事があると思います。

雨や雪は、それが降っている時に人の目に映りますが、どんなに明るい月夜でも、霜が降りる様子を、目の当たりにすることはできません。

あれをやったから、これだけ結果が出たという簡単なものではないのです。

コツコツと毎日毎日の努力を積み上げていくと「闇夜に霜の降りるがごとく」後々あっと驚くほどの大きな成果を作り出すものである。

つまり、大きな改革を成すには、日々小さな改善を積み上げて初めてできるものであるという教えなのですが、これは研究・開発など何事にも通じるものだと思います。

皆さんもじっくりと腰を据え、肩に力を入れ過ぎず、粘り強く突き進んでいって下さい。

これから長い人生、何と言っても健康が第一ですので、スポーツなどでしっかり汗もかきながら、今しか無い青春を精一杯謳歌して欲しいと思います。

本日は本当におめでとうございました。



OBトップセミナー

(学生就職支援事業)

名古屋工業会は平成29年11月8日(水)、名古屋工業大学NITechホールにおいて、トヨタ自動車株式会社専務役員 宮内一公 氏(M55)と日本特殊陶業株式会社常務執行役員 鈴木隆博 氏(K56)を講師に迎え、OBトップセミナーを名古屋工業大学と共催した。名古屋工業会の加川純一連携強化委員長(K49)の司会で、鵜飼裕之名古屋工業大学長(F52)の開会あいさつの後、宮内氏が「トヨタを変える!」、鈴木氏が「創造と挑戦を楽しむ」と題してご講演いただいた。

講演終了後は場所を隣のロビーに移し、講師と学生との情報交換会を実施。立食をしながら和やかな雰囲気の中で、学生からの質問に講師からご回答をいただいた。

また今回、ご講演前の貴重なお時間を頂戴し、ご講演者の宮内氏、鈴木氏へ名工大新聞部が取材を敢行し、お話を伺った。内容は次のとおり。



トヨタ自動車株式会社専務役員 宮内一公 氏



日本特殊陶業株式会社常務執行役員 鈴木隆博 氏

宮内一公氏へのインタビュー

インタビュアー：森井伸一(都市社会工学科4年)

日本の風景を変える新しいタクシーが発車いたします。

今回の講演会の会場前に現れた一台の車。ジャパントクシー。2020年の東京オリンピックで見せる、日本の顔の一つになるのは間違いないだろうこの車は、トヨタ自動車が販売するタクシー用ハイトワゴン型商用車だ。日本の従来のタクシーは4ドアセダン型であり、それに比べて大きいゆとりのある作りとなっている。トヨタの小型車を統括するカンパニーの社長である宮内さんに連れられて、実際に乗ってみると、座席も驚くほど柔らかく座り心地が良い。また、アシストグリップ(車の天井にある取っ手)が従来の形状とは異なり、電車のつり革のように下向きに釣り下がるようになっていて使いやすい。荷物を引っ掛ける場所やお釣りの返却場所など細かな内装にも心配りが感じられた。すべての人、健康な人だけでなく、老人や体が不自由な人も快適に移動ができるようにという思いが目に見える新しい形で現われていた。11月から販売されているので、名古屋の町中にもそのうちに走っている姿が見られそう。是非、乗車して体感してみたい。ジャパントクシーについて説明する宮内さんは、非常に楽しそうで車に対する情熱と愛がひしひしと感じられた。



北米一周旅行とアメリカ出張の奇縁

宮内さんは明朗快活で、お茶目だけど真面目な人だ。そして、パワフルな人だ。面と向かって話していてもそのエネルギーと心配りが感じられるが、ちょうど筆者くらいの、大学3・4年生の時にはその片鱗がすでにあったようで、卒業旅行として友人と一緒に北米を一周する旅に出た。どこへ行こうかと友人と話していく内に国内を飛び越えて国外へ、そして北米を一周しようという話になった。講演中に、実際に行った順路で訪れた町が分かりやすく示されている手作りの北米地図を見せていただいた。学生時代から、分かりやすく記録を残す宮内さんのマメさが見てとれる。この北米一周旅行で訪れた町の一つ一つが、トヨタに入社した後にアメリカへ出張した時に再び、思いもよらないことに生産網としてつながった。まさに、奇縁だ。アメリカ勤務では、生産の責任者として工場の隅々まで知らないところがないと言えるまで見回った。講演を聞いて、何かをなすエネルギーとコツコツやる真面目さというのは、大きな仕事や夢を成し遂げるためには非常に重要だと感じられた。

Start your impossible

EVの台頭。AIの登場。今まで参入していなかった業種からの参入。トヨタは今、非常に強い懸念と危機感を持っている。これまで築き上げてきたモノづくりが音をたてて崩れ、新しいルールへと変わろうとしている。技術の進化やトレンドの変化の速さも一層、激しくなる。カンパニー制はその危機意識から2年前から始まった。会社内部に仮想的な子会社を車種ごとに作り、子会社内部で車が作れるように会社を再編した。以前よりも現場や車種に即した工夫を子会社ごとに迅速に行うことができるようになる。子会社同士の競争も促し、競争力の強化を図る。トヨタはこれから苦境に立たされるかもしれない。しかし、乗り越えることのできる工夫と知恵、そして、夢を持っている。すべてのひとに移動の自由を、歓びを。そのために壁を乗り越え、未来でも新しいモビリティの姿を見せてくれるだろう。ぼくら学生も負けずに、日本のモノづくりを始めなければいけない。

さあ、Start your impossible.

●インタビュー

S・Iさん 学部3年 電気・機械工学科

記者：講演会を聞いての感想をください。

日本を代表する2社の役員の方のお話が聞けるという非常に貴重な機会だったと思います。一見安定している大企業でも、この先どうなるか全くわからない時代であると実感しました。大企業の役員の方がこれ程の危機感を持って新しいことにチャレンジしていることに驚きました。お二方から伺ったお話を意識しながら、今後の就職活動を行って行きたいと思いました。

鈴木隆博氏へのインタビュー

インタビュアー：米谷亮祐(都市社会工学科4年)

轟音を立てて飛ぶ航空機の映像が流れる。

今回の講演者は、この航空機の「スパークプラグ」の製造を行っている日本特殊陶業で、常務として勤めている鈴木隆博さんだ。スパークプラグというのは、燃料を点火させるための火花を飛ばす、エンジンの部品の一つである。

航空機のジェットエンジンに限らず、エンジンでは圧縮した燃料に点火するため、スパークプラグが用いられる。実はスパークプラグの35%は日本特殊陶業で製造されていて、世界一位のシェアを誇っているという。

鈴木隆博さんは、81年に金属工学科を卒業し、日本特殊陶業に就職。航空機用プラグの開発、自動車用プラグの開発に携わっていた。

ものを創造する「仕事」

「仕事についた後も、名工大の図書館で勉強をしてました」と、鈴木さんは語る。

スパークプラグは金属の部品であり、エンジンの重要な部品でもある。



学校で勉強をしてきた金属関係の知識だけでなく、専門外である機械や回路の設計の知識がなければできない仕事だ。

鈴木さんはこの講演の中で仕事について、「専門、得意分野を持って「この件についてはあいつに聞け」といった看板を掲げることが大切」とも語っていた。

鈴木さんの掲げた看板は、材料関係や設計。彼はこの得意分野を持って、H2ロケットに利用するスパークプラグの開発に取り掛かった。

「H2ロケット」への挑戦

H2ロケットで使用する燃料は、液体酸素と液体水素。大きな出力を誇るこれらの燃料に点火するスパークプラグには、この出力に耐える「強度」、確実に点火する「信頼性」の二つが必要不可欠である。

はじめはアルミナを利用していたが、強度が不十分ですぐ吹っ飛んでしまっていた。そこで窒化ケイ素という強度の高いものを利用したが、今度は信頼性が低くなってしまった。

ちょうどこの二律背反に悩まされているとき、国が行っていた別のプロジェクトで「ガス圧焼結窒化ケイ素」という新しい材料を利用した開発を行っていた。

二つの問題を解決しうるこの新素材を使わせてくれるよう頼みこんだところ、はじめは断られてしまったものの、根気よくお願いして、使わせてもらえることになった。

この材料を用いて、強度と信頼性をクリアしたロケット用プラグが完成したのである。

「NTKセラテックの社長」を楽しむ

日本特殊陶業の常務であると同時に、鈴木さんはNTKセラテックの社長である。

NTKセラテックは、もとは日本セラテックというセラミック、半導体を主に扱っている会社で、数年前に日本特殊陶業とM&Aをした。

鈴木さんが最初に行ったのは、M&A先の社員に対してまず一人ずつ面談を行い、「どうしているか、どんな仕事がしたいか」を聞くことだった。相手と同じ目線で踏み込むこの方法により、相互理解を深めることができた。この効果もありNTKセラテックは現在、2桁以上の営業利益率があがっているという。

「創造と挑戦」を楽しむ

様々な業績を挙げてきた鈴木さんは、その数だけ色々な壁にぶつかってきた。いったん何か壁にぶつかり、とてもつらく、会社に行きたくなくなるときもあったという。けれど、「後から振り返れば大したことではない。

今の悩みというのは、20年後の自分からして見れば大した悩みではない」と語った。

この講演を聞いて筆者も、挑戦することの大切さを深く感じる事ができた。

懇親会インタビュー

お二人の講演終了後、講演を聞きに来た学生たちと話をする機会として懇親会が開かれた。それぞれの専門分野について知識と興味のある学生たちが、事業について熱心に質問しているのを見て、「挑戦を楽しむ」を早速実践していると深く感じた。

質問していた学生の中から数名に、今回の講演についてインタビューを行った。

●インタビュー

記者：今回の講演に来たきっかけは？

地元の企業ということもあり、またこのような話が聞ける機会はそうそうないということもあるので、せっかくだからと思いました。

記者：ためになったことはありますか？

日本特殊陶業の、学生に向けてのメッセージですね。今後自分がどういう風に、研究や仕事に向かっていくか。挑戦する上での心構えを学ぶことができました。

記者：鈴木さんと話してみてもうの印象は？

意外というか、すごく話しやすかったです。懇親会で話をした時にも(自分の)目を見て話してくださって、それがうれしかったです。





Youtube 名工大テクノロジーチャンネル 研究紹介動画のご紹介！



名工大テクノロジーチャンネルは、名古屋工業大学で取り組んでいる最先端テクノロジーに関わる研究を紹介するチャンネルです。

名古屋工業大学では、ものづくりのヒントになる「なんじゃこりゃ！」という面白い発想、世界をあっという間に驚かせるような新しい技術の種がどんどん生まれ、目まぐるしい勢いで変化する世界に向けて発信し続けています。

「なんじゃこりゃ！が、いっぱい!!」

ぜひ、名工大テクノロジーチャンネルを覗いてみてください！

最近新しい動画を公開しましたので、その一部をご紹介します。

研究紹介① 森田良文先生

ロボットに手取り足取り教えちゃおう！



生産性の向上、省力化のために中小企業でも導入が進んでいる産業用ロボット。これまで熟練工が行ってきた経験と勘が頼りの作業を、ロボットは忠実に再現できるのでしょうか？今回ご紹介するパラレルワイヤ教示装置「PAWTED」は、誰でも簡単にロボットに動き方を教え込むことができる装置です。ロボットを人の手で直接動かしながら動き方を教え込むことができるため、複雑な動きや微妙な力加減まで教え込むことが可能になります。人が道具を介して手で直接ロボットに力を教え込む技術は世界初！人の動きをロボットが覚えて、そっくり再現する仕組みを、動画で詳しくお見せします。



研究紹介② 王建青先生

筋電信号を無線で飛ばせ！ ケーブルフリーのスマート筋電義肢



筋肉が動く際に発生する微弱な筋電信号を読み取ることで、手指を動かしたり、物をつかんだりすることができる筋電義手ですが、筋電信号検出部と義手制御部がケーブルでつながれた状態では、使用者にとって見た目はもちろん、利便性や快適性が大きく妨げられます。特許にもなっている広帯域人体通信技術の開発により、信号伝送のワイヤレス化が可能になり、ノイズに強く、誤作動や動作遅延の少ないワイヤレス筋電義手の実用化が見えてきました。また義手に限らず、筋電信号を利用した各種ワイヤレス義肢やパワースーツ、ロボットの遠隔操作などにも応用可能な無線通信技術を、詳しくご説明いたします。

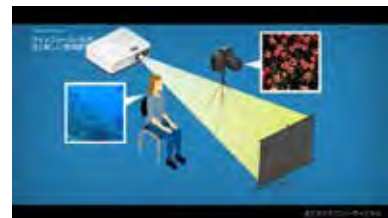


研究紹介③ 坂上文彦先生

6次元ライトフィールドによる 新しい画像処理、情報提示



「ライトフィールド」って何だろう？例えば、2次元画像である写真には、実際の光線が飛び交う多次元世界の情報が圧縮され、平面に落とし込まれています。「ライトフィールド」とは「光線空間」という意味で、その画像になる前の光線の情報のこと。では、6次元とは?? 2次元の「位置」情報に加え、この点から出ている光と、この点に向かってくる光という2次元の「方向」、光の「波長」、「時間」の変動。これらすべてを合わせると6次元になります。6次元のうち、いくつかの次元を選び出し、組み合わせることで、全く新しい情報提示が可能になります。テーマパークのアトラクションもびっくり!? さあ、あっと驚く光のマジックを見てみましょう！



ご紹介している最先端テクノロジーの実用化に向けたパートナーを募集しています。是非、気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

名古屋工業大学 産学官金連携機構

〒466-8555 名古屋市昭和区御所町

TEL:052-735-5627 FAX:052-735-5542 E-mail: c-socc@adm.nitech.ac.jp

平成30年3月27日(火) OPEN

Nagoya Robot and IoT Center

[なごやロボット・IoTセンター]



場 所

国立大学法人名古屋工業大学
4号館1階102室

受付時間

8時30分～17時15分

土曜日、日曜日、祝休日を除く平日
(名古屋工業大学の閉庁日を除く)

相談は無料です



名古屋市が主催、名古屋工業大学が運営する ロボット・IoT導入支援相談窓口を開設しました！

Nagoya Robot and IoT Center [なごやロボット・IoTセンター] は、

幅広い産業分野の中堅・中小企業等へのロボット・IoTの導入を促進するため、課題解決をサポートする**相談窓口**です。

ロボットの実機やIoTのシステムモデルを展示しながら、相談対応や導入事例紹介、マッチング支援などを行っています。

また、ロボット・IoTの導入を検討されている方だけでなく、開発されている方からの専門的なご相談にも幅広く対応いたします。

お気軽にご相談ください！



専門人材育成講座 (平成30年秋開講予定)

- ロボットシステムインテグレータ講座
- IoTシステムインテグレータ講座
- サイバーセキュリティ対策人材講座



地域の産業の生産性向上を図るため、企業等へのロボット・IoTの導入をサポートする専門人材育成講座を開催します。

講師陣は大学の教員、ロボットシステムインテグレータ、ICT関連企業を中心に産学連携体制で構成します。

お問い合わせ先 Nagoya Robot and IoT Center [なごやロボット・IoTセンター]

主催：名古屋市 運営：国立大学法人名古屋工業大学 産学官金連携機構

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町字木市29番

TEL: 052-735-7547

E-mail: n.r.i.center@adm.nitech.ac.jp

URL: <http://nri.web.nitech.ac.jp/>

ホットライン

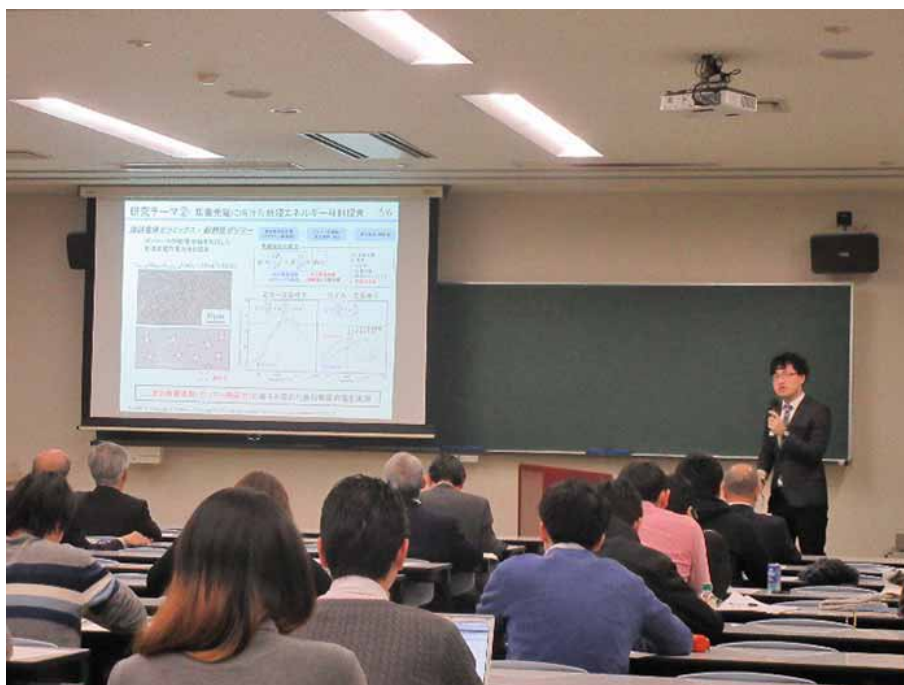
「国際化推進事業報告会」 開催の報告

2月28日(水)、名古屋工業大学2号館0211講義室にて「国際化推進事業報告会」が開催されました。この事業は一般社団法人名古屋工業会からの寄附金により、1か月～半年間海外の企業や大学で留学・研究インターンシップ活動を行う学生への奨学金という形で、本学の国際的な若手人材の育成にご支援いただいている事業です。平成24年の実施以来6年間で180名もの学生が24か国に派遣されております。

今回は16名の学生から報告が行われ、名古屋工業会からは、内藤常務理事、大鹿副理事長(名古屋支部長)、加川大学連携担当理事、森川広報担当理事にご出席いただきました。

内藤常務理事からのご挨拶に続き、学生から、海外派遣期間中に行った研究内容や成果、派遣先機関の様子・生活等について写真やデータを用い発表が行われました。多くの学生から「慣れない環境で苦労したり戸惑ったりすることもあったが自ら積極的に動くことができた」「ディスカッションやミーティングで使える実践的な英語能力を身に着けることができた」「将来グローバルに活躍できるエンジニア・研究者を目指したいという意識が芽生えた」との感想が多くあり、この国際化推進事業での海外経験を通じ大きく成長した姿がうかがえました。参加者や名古屋工業会のご出席者からは活発な質疑応答がなされるなど、充実した報告会となりました。

この事業を通じ、本学では今後も国際社会で活躍できる若手人材の育成・推進を進めていきます。



発表を行う派遣学生

学生コーナー

研究留学体験談@ポーランド

記：秦野 吾朗（電気電子工学科4年）

1. 国際化推進事業に取り組んだ背景

私は高校生の時にアメリカへ1年間の交換留学、大学3年時にはメキシコにて障がいを持った人たちのサポートを半年間行い、その後世界を周り今までに約40の国々に訪れた経験があります。ですから、英語や海外の生活に困ったことはありません。しかし、名古屋工業大学に入学し、これからの人生を技術者として進んで行こうと思っているのに、技術者としての海外での経験はありませんでした。今まさにグローバルに働くことが当たり前になりつつある時代に、学生のうちに海外にて研究を行うことで将来に必ず生かされると思いました。そんな時に国際化推進事業の2次募集があったので迷わず行くことを決意しました。また専門的な会話を英語で行うことで、自分の英語力アップにも繋がりたいと思いました。

2. 英語によるDiscussionと、勉強/研究に対する姿勢

私は2017年12月から2018年1月中旬までの1ヶ月半、ポーランドのポズナン市にあるポズナン工科大学（以下PUT）に派遣されました。着いた初日に私の研究内容である、“膝関節教育支援ロボット”について話し合いました。用意していたパワーポイントを基に説明を行い、質疑応答を行いました。ここまでは自分の研究であり、事前に英語によるプレゼンテーションの練習や、研究に関する英語の勉強も行っていたのでスムーズに議論を繰り返すことができました。しかし問題はここからでした。続いてPUT側の生徒が研究について説明し始めました。研究内容がガラッと変わり、理解がほとんどでき

ませんでした。理解ができなかったので英語で質問することもできませんでした。また、英語による制御系セミナーに参加した際も講義のレベルの高さ、生徒の積極性に驚きました。彼らの母国語はポーランド語であり、国民全体が英語を話せる国ではありません。しかし、彼らは当たり前のように英語で議論を行い、疑問があればすぐに質問をし、その場で疑問を解消していました。また生徒たちの勉強/研究に対する姿勢にも驚きました。放課や昼休みなどの少しの時間があれば廊下や食堂でノートを広げ、友達同士で質問し合い勉強していました。

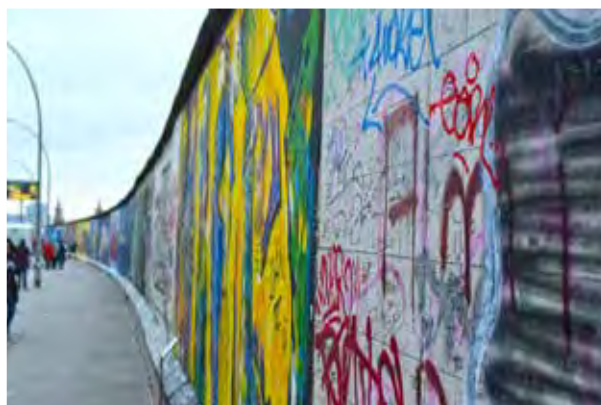


お世話になった教授達と日本の教授と

私はこれらを受けて、自分の英語力の乏しさ、勉強/研究に対する意識の甘さを気づかされました。私はこういった人たちがグローバルで活躍できる技術者なのだと思います。この反省を生かし今現在、もう一度PUTに留学することを検討中です。行くまでの日本にいる間に英語力をさらに磨き、研究力を身に付け、PUTの生徒達と比べて遜色のないレベルに達してリベンジしたいと考えています。そしてグローバルに活躍できる技術者に1歩でも近づきたいです。

3. 毎日の過ごし方

泊まっていた学校の寮はPUTの敷地内にあったので、毎朝8時に起床し、9時前から研究室に行っていました。研究室を終えて寮に帰ってからは、スーパーに行って買い物をしたり、英語の勉強をしたりしていました。ポーランドは物価が安く、チーズなどの乳製品や肉類も非常に種類が豊富で美味しかったです。週末は主に観光に時間を費やしました。ポズナンはポーランドの西部に位置し、隣国ドイツのベルリンまでは電車で2時間という好立地です。



ベルリンの壁

また首都ワルシャワまでも3時間であったり、電車での交通の便が非常に便利で安かったので何度も利用しました。ベルリンまで電車で

行った際、ポーランドにいる時まではアナウンスや、乗務員はポーランド語を使っていました。しかし国境を越えて、ドイツに入国してからアナウンス、乗務員が使う言語は急にドイツ語に変わりました。これは中々面白い体験でした。島国である日本は、国境を超える際は必ず飛行機がメインであり、列車で超えることができません。日本にいたら体験できない面白いことでした。

4. 最後に

1ヵ月半、ポーランドにて研究留学できたことは非常に良い経験でした。自分との考え方の違い、研究に対する姿勢、英語力の乏しさなど気づかされることが多い留学でした。しかしこの経験を生かして次に活かすことで、私のステップアップに繋がると思っています。これからもどんどん海外に出て、自らを磨き、いろいろなことにチャレンジしていこうと思います。

最後に、学部生にも関わらず、チャンスを与えてくださった名古屋工業会、また指導教員である森田教授、PUTのKozlowski教授、Piotr助教授をはじめ、関係するすべての方々にこの場を借りてお礼を申し上げます。



新聞記事コーナー

中日新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2018/2/17	朝	14	堀越哲美	名誉教授	公園南部再生へ意見 久屋大通公園 有識者懇が初部会
2018/2/19	朝	11	名古屋工業大学	—	第39回田口福寿杯中日 岐阜・西濃駅伝 岐阜・西濃駅伝 県勢2年連続全部門制覇
2018/3/1	大山版朝	16	麓 和善	建築・デザイン工学科	新しゃちほこ設置報告 犬山城修理委 天守 夏から補強
2018/3/2	朝	30	武藤三郎	元学長	武藤三郎氏死去 元名古屋工業大学学長
2018/3/5	朝	6	園部海斗	在学生	愛知 スポーツ 射撃 ◇日本学生ライフル射撃連盟中部支部3支部交流
2018/3/5	朝	10	名古屋工業大学	—	元留学生と被災者 カラオケ 陸前高田 名古屋のNPO催し
2018/3/10	東濃版朝	15	先進セラミックス研究センター	—	陶磁器研究など報告 多治見で成果発表会
2018/3/15	朝	31	山本大介	情報工学専攻	(通風筒)しゃべるバス停
2018/3/20	知多版朝	1	名古屋工業大学	—	地元企業と学校 就職で情報交換 東海
2018/3/22	朝	1	名古屋工業大学	—	名大・岐大、法人統合へ 運営を効率化、協議開始
2018/3/22	WEB	1	名古屋工業大学	—	名大・岐大、法人統合へ 運営を効率化、協議開始
2018/3/27	夕	13	秀島栄三	建築・デザイン工学科	目耳録 地域参加
2018/3/28	朝	21	名古屋工業大学	—	なごやロボット・IoTセンター 中小支援 名工大と名古屋市が連携
2018/3/29	朝	31	名古屋工業大学	—	国立大交付金再配分39大学に増額の評価 名工大、三重大など
2018/4/1	朝	21	名古屋工業大学	—	留学生と寮生活 名工大に新棟完成
2018/4/4	朝	26	名古屋工業大学	—	【全面広告】平成30年度躍進する大学の学長メッセージ
2018/4/6	なごや東版朝	18	増田理子	社会工学専攻	尾張旭のママナシ・アイナシ あすから自生地公開
2018/4/7	朝	18	増田理子	社会工学専攻	尾張旭のママナシ・アイナシ あすから自生地公開
2018/4/7	朝	25	名古屋工業大学	—	愛知大学野球 春季きょう開幕 中京 名城 中部 「3強」軸に激戦
2018/4/10	岐阜版朝	22	高木光弘	卒業生(D58)	参院選に高木氏擁立 来夏 共産党県委が発表
2018/4/10	朝	18	桜井敦貴	在学生	sports愛知 弓道ナゴヤユニバーシティカップ
2018/4/12	朝	19	伊藤孝行	情報工学専攻	ネット議論→政策提言 名古屋JC取り組み
2018/4/12	朝	16	小野徹郎	名誉教授	木造天守 強度実験を公開 名古屋城 復元へ耐震性検証
2018/4/14	朝	19	名古屋工業大学	—	AI活用で医学研究 名大、名工大が連携し3件
2018/4/14	朝	19	鵜飼裕之	学長	番組審議委員会に戸莉氏 (CBCテレビの番組審議会)
2018/4/18	朝	7	名古屋工業大学	—	窓あらゆる世界からのぞく YKK AP主催 名工大で巡回展

中部経済新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2018/2/20	朝	3	伊藤洋介	社会工学専攻	【研究現場発】融雪用発熱モルタルブロックシステムの開発 電波で雪を解かす新しいシステム
2018/3/20	朝	3	岸 直希	電気・機械専攻	【研究現場発】軽く柔らかい環境発電素子 身の回りの未利用エネルギーによる発電
2018/4/16	朝	15	北川 亘	電気・機械専攻	【研究現場発】北川亘准教授 電力変換器のノイズ対策 高精度シミュレーション技術で問題解決

情報 ネットワーク

名工会東京支部 第234回ゴルフ大会報告

名工会東京支部第234回ゴルフ大会は3月30日(金)に神奈川県厚木市の本厚木カンツリークラブで開催しました。

満開の桜と晴天に恵まれた素晴らしいコンディションの中、5組17名でスタートし、全員が無事にホールアウトできました。

成績は、優勝M42河野正武さん(NET79)、準優勝C31黒田達郎さん(NET85)、三位E31安藤文夫さん(NET86)でした。

プレー後の懇親会ではこのクラブのインコースの早く、複雑な傾斜のグリーンに大苦戦した話等で盛り上がりました。恒例通り上位入賞者等への表彰とスピーチを楽しみながら懇親会を終えました。

なお、次回235回大会は千葉県佐倉カンツリー倶楽部で6月1日に開催します。沢山の方のご参加をお願いします。

また当会の活動内容のお問い合わせ及び入会希望の方がいらっしゃいましたらC44川島泰(k_tai@ametyyst.broba.cc)までご連絡ください。

記：実行委員 藤田正浩(E33) 宮口守弘(D38)



後列左より D38宮口、M42河野、D39竹林、C31黒田、E48寒川、D35済木、M18小関、E30加藤、C42原、M36野澤、D36加藤、前列左より M39津田、A44山川、A35伊藤、C44川島、E33藤田、E31安藤

第113回 名工大ごきそ会報告

第113回名工大ごきそ会は、平成30年3月28日(水)鈴鹿山脈の東部に位置する名門桑名カンツリー倶楽部で17名の参加を得て開催いたしました。

桑名カンツリー倶楽部は、深い松林に区分けられた起伏のあるコースであり、ショートホールでは美しい池越え、ロングホールではフェアウェイを川が2回も横切るホールもあり、チャレンジングなコースです。当日は快晴の天候に恵まれ、また桜も六、七分ほど咲いており、花と緑を満喫しながらのプレーをすることができました。

栄えある優勝は、グロス(84)、ネット(78)のスコアを出された平岡雄偉様でした。第2位はグロス(99)、ネット(83)を出された本クラブの会員であります加藤倫朗様でした。第3位はグロス(97)、ネット(88)の伊佐治武様でした。平岡様は今回もベストグロス賞を獲得され3大会続けての快挙です。他の会員方々の一層の奮起が望まれます。

今回のごきそ会から光行恵水様のご紹介により、新たに岡田聡様が加入されました。岡田様は定年後も海外勤務をされており、久方ぶりの日本でのゴルフとのことでした。

次回は、森川民雄様のご紹介により、名門愛知カンツリー倶楽部で平成30年6月28日(木)に開催決定をいたしました。

記：山田和男(E47)



東京支部「第61回 東京ごきそサロン」開催のご案内

今回は、国立研究開発法人海上技術安全研究所でご活躍のM53卒櫻井昭男様に、F R P (Fiber Reinforced Plastic)船に関する建造、環境対策技術の研究成果及び今後の方向性についてご講演をして頂きます。各位のご参加をお待ちしています。

開催日時：平成30年6月6日（水）18時00分～20時00分

開催場所：八重洲倶楽部（東京駅八重洲口地下）2,3会議室 電話：03-3275-0801

テーマ：環境に優しいF R P 船の開発をめざして

～インフュージョン法によるF R P 船体建造の取り組み～

講師：櫻井 昭男（さくらい あきお）氏（M53年卒）

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 専門研究員

「強化プラスチック協会」学識委員、日本材料学会複合材料部門委員会委員

1978年名古屋工業大学生産機械工学科卒業、1980年名古屋工業大学大学院工学研究科生産機械工学専攻終了。同年、運輸省船舶技術研究所に入所。氷海船舶、低温用複合材料の研究に携わる。1985年から1年間科学技術庁に出向。1995年、米国デラウェア大学複合材料研究センターに在外研究員として赴任。帰国後、船舶用F R P の研究に従事するとともに、F R P 船技術基準の改定作業、又新しい成型法の開発と普及に尽力する。2014年定年退職し、引き続き嘱託として後進の指導に当たる。

講演概要：F R P 業界において、強化繊維等の基材とその成形法に関する新しい技術の開発が進んでいる。F R P 船についても、新しい原材料の採用により、船舶の軽量化や高速度化とともに安全性、信頼性の向上が期待されているが、国内のF R P 造船業界においては長らく需要の低迷が続いており、製造現場の技術者不足等が深刻な問題となっている。これらの問題を解決するためにもコスト低減や作業効率の改善、さらには環境問題、省エネルギー化等に繋がる新しい技術の開発が望まれる。本講演では、当研究所が取り組んできたF R P 船に関する建造並びに環境対策技術の研究成果を中心に以下の項目について述べ、環境に優しいF R P 船の方向性を示す。

①F R P 船の環境負荷 ②F R P 船建造の技術基準

③新たなF R P 船体材料とインフュージョン法による船体建造の取り組み。

会費：名古屋工業协会会员：1,000円、非会員：1,500円（全員に食事が付きます）

申込先：食事の準備の都合上、5月30日（水）までに下記の各科常任幹事宛、電話、FAX又はe-mailでお申し込み下さい。各科常任幹事は出席者名簿を6月1日（金）までに鈴木までE-mail（spyn5cf9@canvas.ocn.ne.jp）によりご連絡下さい。

C：松田和繁 Tel：03-3235-8114

Fax：03-5261-9665

e-mail: kamatsud@ku.kumagaigumi.co.jp

A：長谷川久巳 Tel：090-4522-1373

Fax：03-6665-4852

e-mail: hasegawa.hisami.3t4@eng.nssmc.com

M：松浦明人 Tel：090-8009-8067

e-mail: matsuura.akito@showa-aircraft.co.jp

E：三浦太朗 Tel/Fax：050-1580-3039

e-mail: t.miura.322@nitech.jp

D：鈴木満雄 Tel/Fax：03-3713-8214

e-mail: spyn5cf9@canvas.ocn.ne.jp

W：印藤 嶺 Tel/Fax：047-492-1384

e-mail: t-nikka1117@cg7.so-net.ne.jp

Y：日沖 昭 Tel/Fax：045-911-3340

e-mail: hioki3@y6.dion.ne.jp

K：北村明弘 Tel：090-6191-3316

e-mail: akihiro.kitamura@sho-pat.com

F：小川一郎 Tel/Fax：049-264-0767

e-mail: i-ogawa@mtj.biglobe.ne.jp

B：飯沼義昭 Tel：0467-23-7380

e-mail: takaoka102102@yahoo.co.jp

名晶会大阪支部第23回交流会ご案内 (名古屋工業会大阪支部共催)

名古屋工業会大阪支部長 岡崎 格郎 (A46)
名晶会大阪支部長 加藤 修 (K48)

さわやかな新緑の季節となりました。皆さま方には、お健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、本年の名晶会交流会（第23回）（大阪支部との共催）を下記要領で実施いたします。

本年度は、昭和47年に金属工学科を卒業されたお二人にご講演をお願いしております。

横山誠様には長年の海外勤務を過ごされた後の奈良大学での勉学の日々、更に、その後海外観光客の通訳ガイドとしてご活躍されておられる退職後の挑戦をご紹介します。

また、現在大阪大学客員教授としてご活躍の菅哲男様からは、ご専門である接合・溶接分野の最近の動向と研究分野の一端の御紹介を交えて、物づくりのベース技術である接合・溶接について、ご紹介いただきます。奮ってご参加頂きますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時；平成30年6月16日（土）、15時～19時
2. 場 所；中央電気倶楽部、大阪市北区堂島浜2-1-25、TEL :06-6345-6351
地図 URL: <http://www.chuodenki-club.or.jp/map/map.html>
3. 内 容；
 - (1) 15:00～16:30 講演会
 - ①「奈良大学の学習、卒業内容 ―退職後の挑戦―」
講師 横山 誠 氏 (K47)
現通訳ガイド、(株)ジェイテクトOB
 - ②「溶接・接合のお話 ―ものづくりのキーテクノロジー、溶接・接合―」
講師 菅 哲男 氏 (K47) 大阪大学接合技術研究所客員教授、(株)神戸製鋼所OB
 - (2) 16:30～17:00 事務局よりの報告
 - (3) 17:00～19:00 懇親会
4. 会 費；6,000円（但し、学生、H28.29.30年卒業生；無料）
5. 申込み；締切り 6月2日（土） 定員30名
6. 申込先；名古屋工業会大阪支部 堀口 大輔 (C59)
E-mail： d-horiguchi@kcc.zaq.ne.jp TEL :090-9169-4563
または名晶会大阪支部 田口 教平 (K44)
E-mail： taguchi.fkkt@hera.eonet.ne.jp TEL :090-2198-0924

参加ご希望の方は、i)氏名 ii)卒業年度・学科 iii)ご連絡先住所 iv)E-mail v)TEL/FAX をご連絡ください。



名古屋工業大学公開講座

平成30年度公開講座実施一覧

No.	名 称		対 象 者	募集 人数	期 間	実施時間	料金 [円]
0	健康と福祉 一超高齢社会に資する科学		高校生及び一般	100	H30.6.2 H30.6.9	13:00～15:15 13:00～15:20	無料
No.	担 当	名 称	対 象 者	募集 人数	期 間	実施時間	料金 [円]
1	情報工学科	情報通信技術の現状と動向 1	一般	25	H30.4.12H30.4.19 H30.4.26H30.5.10	16:20～17:50	無料
2	情報工学科	情報通信技術の現状と動向 2	一般	25	H30.5.24H30.5.31 H30.6.7H30.6.14	16:20～17:50	無料
3	情報工学科	情報通信技術の現状と動向 3	一般	25	H30.6.28H30.7.5 H30.7.12H30.7.19	16:20～17:50	無料
4	技術部	名工大テクノチャレンジ mini 空気でものを動かそう	小学校 1年生～3年生	10	H30.5.26	10:00～12:00	無料
5	生命・応用化学科, JAXA、全国宇宙教材 コンテスト実行委員会 共催	子供向け科学体験実験講座	小学校3年生～6年生	各50	H30.6. H31.3の週末 (予定)	6月:13:00～15:00 3月:10:00～12:00	無料
6	創造工学教育課程, 創造工学教育推進センター	創造工学で学ぶ未来のテクノロジーのつくり方！	高校生	40	H30.7.21	13:30～16:30	無料
7	留学生センター	世界の遊びと文化	小学校高学年から 高校生および その関係者	20	H30.7.21	13:30～16:30	無料
8	社会工学科	第3回 制御システムセキュリティ ワークショップ（モニター編）	製造業の生産部門 並びにIT部門で セキュリティに 興味のある方	20	H30.7.28	10:30～17:50	3,660円
9	社会工学科	土木遺産：松重開門で考える水環境・利水・治水	一般	30	H30.7.28	13:00～16:30	無料
10	工学教育総合センター	なごやのものづくり集積	一般	100	H30.7.31	14:00～15:30	無料
11	技術部	第3回名工大テクノチャレンジ	小学生～高校生	130	H30.7.31～ H30.8.3 (4日間)	9:00～16:30	無料
12	電気・機械工学科	体験！電気・機械工学 ー基礎から学ぶ身のまわりの電子材料ー	高校生	30	H30.8.6	13:00～17:00	無料
13	物理工学科	体験！物理学の世界	高校生	30	H30.8.7	10:00～16:00	無料
14	電気・機械工学科	体験！電気・機械工学 ー基礎から学ぶ身のまわりの機械の不思議ー	高校生	30	H30.8.7	10:00～16:00	無料
15	電気・機械工学科	電気で遊ぼう！ 電池とモーターの楽しい工作	小学校高学年 (4～6年生),付き添い として保護者の参加歓迎	45	H30.8.18	13:00～16:30	無料
16	生命・応用化学科	分子のはたらきを理解しよう	高校生	25	H30.8.21	13:00～16:30	無料
17	技術部	名工大テクノチャレンジ mini 磁石の科学実験	小学校1～6年生, 付き添いの保護者 参加歓迎	10	H30.8.24 (予定)	13:00～16:00	無料
18	工学教育総合センター	豊かな生活とは何だろう 快適で安全な生活を支える科学技術	高校生及び一般	50	H30.10～H30.11 の土曜日	13:00～16:00	3,690円 (高校生以下 無料)
19	工学教育総合センター	心理学におけるストレスの理解： ストレス過程と認知的評価を中心として	一般	未定	H30.10 ～H31.3 (1日間)	14:00～15:30	無料
20	情報工学科	プログラミング体験 ～ロボットを動かすプログラムを作ろう～	高校生	20	H30.10.27 (予定)	13:30～16:30	無料
21	先進セラミックス 研究センター 生命・応用化学科 環境セラミックス分野	グリーンテクノロジーに資する機能性材料	一般	30	H30.11.1	13:30～16:30	1,230円
22	情報工学科	コンピュータサイエンス・アドベンチャー 理論計算機科学はこんなに面白い！	高校生以上	20～40 (予定)	H30.11.24 (予定)	10:30～15:00	1,230円 (高校生以下 無料)

・講師、会場の都合や警備等の発令により、講座の日程等が変更になる場合がありますので、HP、TEL等で、ご確認ください。

各講座の詳細はホームページに掲載しています。

アドレス <https://www.nitech.ac.jp/course/index.html>

名工大公開講座

検索

事前申込みが必要です。申込方法等は裏面をご覧ください。

■ 問い合わせ先 名古屋工業大学学務課学係 (名古屋市昭和区御器所町) TEL (052) 735-5066

平成30年度名古屋工業大学 公開講座申込書

講 座 名	No.	名 称		
フリガナ		性 別	年 齢	
氏 名		男 ・ 女	歳	
連絡先住所	☐ 自宅	〒		
	☐ 会社			
電 話 番 号	()	—		
携帯電話番号	()	—		
F A X 番 号	()	—		
E メ ー ル ア ド レ ス	@			
※パソコンからのメールが受信できるアドレスをご記入ください。				
勤務先又は学校名				
この講座をお知りになった情報源	☐ 名工大HP ☐ その他Web ☐ パンフレット ☐ チラシ ☐ 新聞 ☐ 勤務先又は学校からの紹介 ☐ 知人・家族等 ☐ その他 ()			
	・「その他Web」の場合、その名称を選択又は記入してください。 ☐ 生涯学習Webナビごや ☐ あいちの学校連携ネット ☐ その他 ()			
	・「パンフレット」「チラシ」の場合、その受取場所を選択又は記入してください。 ☐ 名工大からの郵送 ☐ 生涯学習センター ☐ 図書館 ☐ 区役所 ☐ その他 ()			
備 考				

※講座番号 10,11,13,14及び19については、本申込書での申込みではありません。
 ※お申込みは各講座の受付期間内にお願ひします。受付期間は、HPまたはTEL等でご確認ください。
 ※受付期間終了後、上記連絡先へ受講のご案内をEメールもしくはFAXにてご連絡します。
 ※希望テーマを選択するものについては、備考欄に希望順に番号を記載してください。
 ※複数の講座に申し込まれる場合は、本紙をコピーの上、講座毎にお申込みください。

申込方法

- 以下の(1)～(4)の方法があります。
- ウェブサイトから申し込み方法
<https://koukaikouza.ict.nitech.ac.jp/reception/>
 から申し込んでください。
 - 電子メールで申し込み方法
 次の全事項明記の上、メールの件名を「公開講座申込み」として、下記e-mailアドレスへ送付してください。
 ①受講講座名 ②氏名(ふりがな) ③性別
 ④年齢(学生の場合は学年も) ⑤住所 ⑥電話番号
 ⑦勤務先又は学校名
 ⑧この講座を知った情報源
 ⑨メールアドレス
 ⑩案内の中で指示のあるものは、その指示に従ってください。
 - 郵送またはFAXで申し込み方法
 公開講座申込書に必要事項を記入して、右記申込先へ送付して下さい。
 - 窓口で直接申し込み方法
 公開講座申込書に必要事項を記入して、提出してください。

受講にあたっての留意事項

- 有料の講座については、講習料納入後の払い戻しはできません。
- 受講希望者多数の場合には、期限前でもお申込みの受付を終了させていただく場合がございます。
- 受付期間終了後、受講のご案内をEメールもしくはFAXにて通知します。
 ※有料講座の申込みをされた方には、別途講習料の納入方法をお知らせします。
- 受講日には、講義開始時間までに直接会場に集合願ひます。
- キャンセルは極力ご遠慮ください。やむをえず受講を辞退される場合には、下記問い合わせ先までご連絡願ひます。
- 自動車による名古屋工業大学構内への入構はご遠慮ください。
- 障害等のある受講希望者で受講上特別な措置及び配慮を必要とする方は、事前にご相談ください。

申込先・問い合わせ先

〒466-8555
 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学学務課学部係
 e-mail: gakumu-tan@adm.nitech.ac.jp
 T E L : (052) 735-5066 (ダイヤルイン)
 F A X : (052) 735-5072
 U R L : <https://www.nitech.ac.jp/course/>
 本パンフレットで未定となっている箇所については、HPにて随時更新いたします。

平成30年度 名古屋支部総会

平成30年度工業会名古屋支部総会を下記の通り開催致します。併催の講演会では、名古屋工業大学副学長 犬塚信博先生に「新しい工学教育と名古屋工業大学創造工学教育課程」と題しましてご講演を頂きます。会員の皆様におかれましては是非ご出席頂きたくお願い申し上げます。

1. 日 時：平成30年 6月23日(土) 14:00 ～ 受付開始
2. 場 所：名古屋工業大学 4号館 1階ホール
3. 日 程：総会(14:30 ～ 15:30)
講演会(15:40 ～ 16:40)
講演者；犬塚 信博 先生（名古屋工業大学 副学長）
題目；「新しい工学教育と名古屋工業大学創造工学教育課程」
懇親会；名古屋ビール園 浩養園 スターホール 3F（17:30 ～）
4. 会 費：総会、講演会；無料
懇親会；1名 2,000円（ご家族同伴の場合、人数分を徴収させていただきます）
5. 申 込 先：下記の支部連絡先又は単科会連絡幹事等へご連絡下さい
締切は6月2日(土)

支部連絡先：米谷 昭彦(名古屋工業大学物理工学科内 名古屋工業会名古屋支部庶務幹事)

E-mail：yoneya@nitech.ac.jp TEL&FAX：052-735-5380

C E 会	遠藤 浩二 (C61)	TEL090-1108-5368	名窯会	曾根 茂実 (Y62)	TEL0587-66-6800
光鯨会	宇佐美智伯 (A6)	TEL052-704-6137	名晶会	栗田 典明 (K60)	TEL052-735-5297
巴 会	大西 一 (M49)	TEL080-5100-2920	計測会	米谷 昭彦 (F60)	TEL052-735-5380
電影会	三宅 正人 (E60)	TEL090-3581-4472	経友会	仁科 健 (B50)	TEL052-891-5852
双友会	泉地 正章 (W44)	TEL052-837-7271	情友会	石橋 豊 (J56)	TEL052-735-5440
緑 会	犬塚 正憲 (D48)	TEL0563-52-2278			

各単科会幹事様はメールにて参加者情報をご連絡いただけますと幸いです。

名古屋工業会 会員優待のご紹介（詳しくはHPをご覧ください）

- ◎名古屋ボストン美術館…無料入場（本人）
- ◎徳川美術館…無料入場（同伴者1名可）
- ◎宿泊割引
- ◎支部施設
- ◎大学施設
- ◎その他



企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター 定期刊行物 etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げられたノウハウはDTPにおいて、特に不得意とされる版組みの書籍・表組みの買物も得意分野です。

印刷

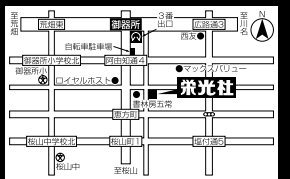
カラー印刷：2色刷り・1色刷り・特色刷り・品質・部数・ご予算に応じて提供いたします。
Macintoshのみならず、ワード・太郎等の通称オフセット印刷に適さないWindowsデータの出力ノウハウもありますのでご相談ください。

製本

自筆・体験記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・雑誌・絵本等、自分の本を作りたいとお考えの方。
各種マニキュア・広報・配布文書・名簿・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本でお困りの学生・法人の方、少ロットよりお手伝いします。

総合印刷の
有限会社 栄光社

〒466-0035 名古屋市昭和区松風町三丁目4番地 2F
TEL (052) 848-6148
FAX (052) 848-6518
URL <http://www2.ocn.ne.jp/eik/>
E-mail eikou@theia.ocn.ne.jp



(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

40年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに
簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってくだされば

登録料 **50% OFF**

ブライダルコース ¥226,800 ▶ ¥210,600 etc.

エクセレントコース ¥388,800 ▶ ¥372,600 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り。
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。



株式会社 **ブライダル**

お問い合わせ
(月曜定休) **0120-415-412**

<http://www.bridal-vip.co.jp>

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座 材料、加工、設計、電気・電子、
組込コンピュータ各種要素技術...

品質系全30講座 DRBFM、なぜなぜ分析など
各種未然防止手法

マネジメント系全10講座 経営品質、もしどろリーディング、
プロジェクト管理...

WORLDTECH

株式会社ワールドテック

代表取締役 寺倉修(F50)

〒458-0901 名古屋市中区錦2-15-22リそな名古屋ビル7F

TEL: 052-219-6025

FAX: 052-219-6026

E-mail: solution@worldtech.co.jp

広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

学内

鈴木 弘司

北川 啓介 (SA⑧)

古谷 正広 (MF③)

関 健太 (EP⑫)

山本 勝宏 (ZW⑥)

北川 慎也 (D⑤)

本多 沢雄 (ZY⑥)

小坂井孝生 (K49)

米谷 昭彦 (F60)

川村 大伸 (SS⑩)

三田 晴伸 (名古屋工業大学 広報室長)

学外

堀尾 朋宏 (SU②)

浅野 健 (SU⑥)

廣瀬 光利 (E50)

吉木 満 (W56)

高取 奨 (D⑥)

山田 哲正 (Y47)

大矢 泰正 (K52)

守田 賢一 (F47)

入倉 則夫 (B47)



一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・広告主・関係官庁・各学会・大学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

※広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp までお願いします。